

参 考

がいこくじんじどうしゃせいびぎのうじっしゅうひょうかしけん じつぎしけんもんだい
外国人自動車整備技能実習評価試験 実技試験問題

【自動車整備作業 専門級】

じゅけんばんごう 受験番号	な ま え 名前

つぎ
次の「1. 試験時間」、「2. 注意事項」にしたがって、課題1～課題3を行
いなさい。

1. 試験時間

かだい 課題	か だい めい 課題名	し けん じ かん 試験時間	
		ひょうじゅんじかん 標準時間	う き じかん 打ち切り時間
1	さーきつとてすた による ばってり の 端子電圧の測定作業と ルームランプ バルブ (24V・10W) の抵抗値の測定作業	8 分	10 分
2	び す と ん ぶんかい くみたて の ぎ す ピストンの分解、組立とノギスによる ピストンピンの外径の測定作業	8 分	10 分
3	ほ い ー る し り ん だ ぶんかい くみたて ホイールシリンダの分解、組立と び す と ん か っ ぶ だ す と ぶ ー つ ピストンカップとダストブーツの 交換と 給 脂の作業	10 分	13 分

参 考

2. 注意事項

- (1) 試験問題には、受験番号と名前を書きなさい。
- (2) 試験問題は、試験が終わったら回収します。
- (3) 試験は、試験官の指示にしたがって行ってください。
- (4) 全ての試験作業は、自分自身で行ってください。
- (5) 課題の中で指定されていること以外は行わないでください。
- (6) 試験部品は、試験会場に準備してあるものを使用してください。
- (7) 測定機器等は、持参したものを使用してください。
- (8) 試験部品などに異常があれば、試験官に申し出てください。
試験が始まったら、試験部品は交換できません。ただし、新たに試験部品
などに異常が見つかった場合は、試験官に申し出てください。
- (9) 試験中は、測定機器等の貸し借りはできません。
- (10) 試験時間の計測は、試験官の「試験開始」の合図から各課題の作業を
終了した時点までとしますので、作業が終了したら手を上げて「終わ
りました」と試験官に声をかけてください。
- (11) 試験は、作業にあった服装で受験してください。
(作業態度も評価の対象になります。)
- (12) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点しま
す。

参 考

3. 受験者が持参するもの

品 名	内 容	数 量
受験票		1
実技試験問題	この用紙	1
ノギス ※ダイヤル型、デジタル型は不可	測定範囲が 0 ～ 1 5 0 mm 程度のもの	1
アナログ式サーキットテスタ ※デジタル式は不可 ※スイッチはオフにして、プローブは 外しておくこと。	自動車の整備 作業に適したもの	1
必要に応じて、ピストンカップ等の 交換に使用する工具等	交換作業に適した もの	1 式
筆記用具		1 式
作業服		1 式
作業帽		1
安全靴		1

※持参する測定機器の精度は、実習実施者が確認しておくこと。

参 考

4. 課題の内容

【課題1】サーキットテスタによるバッテリーの端子電圧の測定作業とルーム

ランプバルブ (24V・10W) の抵抗値の測定作業を行う。

次の手順にしたがって、「サーキットテスタによるバッテリーの端子電圧の測定

作業とルームランプバルブ (24V・10W) の抵抗値の測定作業」を行い、その

結果を『チェック表』に記入しなさい。

〔作業手順〕

- (1) バッテリーの端子電圧の測定の準備をする。
- (2) ファンクションスイッチをバッテリーの端子電圧の測定に適した位置にする。
- (3) 赤色と黒色のプローブをバッテリー端子の (+) 側、(-) 側の適切な端子に当て、目盛りを読み取り、『チェック表』に測定値を記入する。
- (4) ルームランプバルブ (24V・10W) の抵抗値の測定の準備をする。
- (5) ファンクションスイッチの抵抗値の測定に適した位置にする。
- (6) 赤色と黒色のプローブをルームランプバルブ (24V・10W) に当て、目盛りを読み取り、『チェック表』に測定値を記入する。
- (7) ルームランプバルブ (24V・10W) が断線していないか判定
『チェック表』に記入する。
- (8) サーキットテスタを使用前の状態に戻す。

参 考

(9) お終わったら試験官に報告する。

測定値の記入は、例のように小数点以下第1位までとする。

※電圧の場合 (例 15.4 V) ※抵抗値の場合 (例 30.5 Ω)

『チェック表』

点検項目	測定値	点検結果 ○か×を記入
(3) バッテリの端子電圧	V	
(6) ルームランプバルブ (24V・10W) の抵抗値	Ω	
(7) ルームランプバルブ (24V・10W) が断線していないかの判定		

参 考

【課題 2】ピストンの分解、組立とノギスによるピストンピンの外径の測定作業
を行う。

次の手順にしたがって、「ピストンの分解、組立とノギスによるピストンピンの
外径の測定」を行い、その結果を『チェック表』に記入しなさい。

〔作業手順〕

(1) ピストンからコンロッドとピストンピンを取り外す。

※スナップリングは、外してあります。

(2) 測定の準備をする。

(3) ピストンピンの中央部を測定し、『チェック表』に測定値を記入する。

(4) 測定結果と基準値から良否判定を行い、『チェック表』に記入する。

(5) ピストンにコンロッドとピストンピンを組み付ける。

(6) 終わったら試験官に報告する。

参 考

測定値の記入は、例のように小数点以下第2位までとする。(例 15.55mm)

良否判定で良好の場合は ○ を記入する。

良否判定で交換が必要な場合は × を記入する。

『チェック表』

点検項目	測定値	点検結果 ○か×を記入
(3) ピストンピンの外径	mm	
(4) 良否判定		

※ピストンピンの外径の基準値は、試験実施時にお知らせします。

参 考

【課題 3】 ホイールシリンダの分解、組立とピストンカップとダストブーツの

交換と給脂の作業を行う。

次の手順にしたがって、「ホイールシリンダの分解、組立とピストンカップと

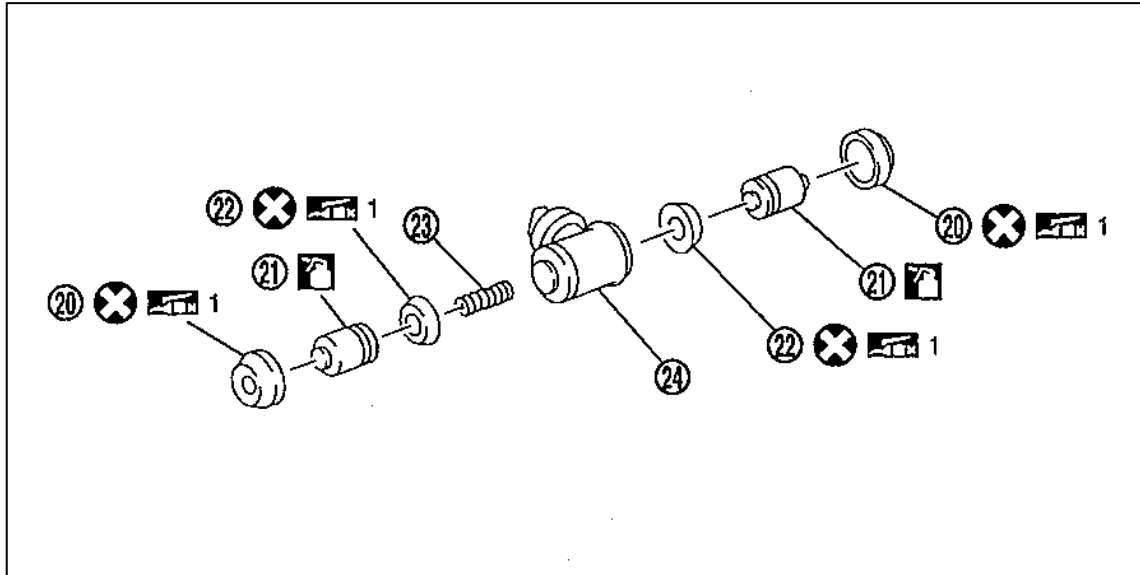
ダストブーツの交換と給脂の作業」を行いなさい。

〔作業手順〕

- (1) 組み付けてある全ての部品を分解図のとおりに取り外す。
- (2) ピストンカップとダストブーツを交換する準備をする。
- (3) 必要な箇所にブレーキフルードまたはラバーグリースを給脂する。
- (4) ピストンカップとダストブーツを交換し、元のとおりに組み付ける。
- (5) 終わったら試験官に報告する。

参 考

ホイールシリンダ分解図



部品名

- ②① ダストブーツ (だすとぶーつ)
- ②① ピストン (びすとん)
- ②② ピストンカップ (びすとんかつぷ)
- ②③ リターンスプリング (りたーんすぷりんぐ)
- ②④ シリンダ (しりんだ)

  : 給脂部品 (きゅうしぶひん)

 : 再使用不可部品 (さいしようふかぶひん)

※油脂の種類

○  ブレーキフルード

○  ラバーグリース